

水田農業政策を問う

農地基盤整備と担い手育成を推進する



中倉 広文議員

農薬の適正使用及び 飛散防止の指導徹底

町長

食品衛生法に基づく残留基準値が設定され、農薬等が一定量以上含まれる食品の販売等を原則禁止するポジティブリスト制度の施行により、農薬使用者に対し農薬の適正使用及び農薬の飛散防止措置の実施をはかるよう指導の徹底に努めている。

今年の航空防除の結果は

中倉議員

例年行われている早期水稲の航空防除が、本年は有人ヘリコプターによる一斉防除から、無人ヘリコプターに変更になったようだが、その結

同意書の 簡素化をはかれ

中倉議員

農薬散布申請手続きや他作物者からの同意書も必要であるが、転作台帳等で簡単に意思表示できるシステムを作れないか。

同意書の簡素化に より一斉防除に努める

農林振興課長

同意書関係は簡素化に努め、内容等は協議会を設立し、関係団体の代表者と共に協議を重ね、継続して一斉防除に努める。

水田基盤整備をはかれ

中倉議員

国・県の水田基盤整備率を大きく下回っている本町の現状では、現在の水田営農の課題である担い手の確保や輪作体系・他品目の導入など解決は

関係機関と 勉強をする

町長

現在までに関係の機関と泥炭地における基盤整備について検討してきた。今後も基盤整備の可否を含め勉強をしていく。

基盤整備は 必要である

町長

これからの農業を考えた時に、生産基盤の整備は必要だと認識し、そのことが今年実現し来年度から圃場整備が進みます。

泥炭地での 基盤整備のあり方は

中倉議員

汐入川流域の水田の下層部は泥炭土であり、機械作業に非常に気を使う湿田である。この水田は他の所と同じような画一的な基盤整備は困難と思われる。

ことばの意味

○ポジティブリスト制度

薬類の残留成分が一定量以上含まれている食品の流通を原則禁止する制度。改正食品衛生法の施行により今年5月に開始。

○トレーサビリティ

食品の安全を確保するために栽培・飼育から加工、製造、流通などの過程を明確にすること。

本年5月に施行されたポジティブリスト制度は、農業経営者にとってはより緻密で困難な作業を強いられる反面、増大する輸入農産物や消費者から信頼される農産物の生産・販売という点では大変意義があり、トレーサビリティシステムと共に日本農業再生の礎となる素晴らしい法律であると考え。農業を基幹産業とする本町では、法律施行以後今までに、どのような協議と対応がなされたか。